

日本SOD研究会報

特集 丹羽療法 治療レポート 話題のiPS細胞とは 丹羽先生の近著 「国際がん学会が認めた、 延命効果世界一の『丹羽がん療法』」 に早くも詳しく記載が

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川1-15-2 B棟2802
TEL. 03-5787-3498
<http://www.sod-jpn.org/>

昨年の東北地方太平洋沖地震により、被害を被られた皆様には、心からのお見舞いを申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

こぞってその研究が、夢のような再生医療ですぐにも実現されるかのように伝え、この聞き慣れなかったiPS細胞は一躍、医療の希望の光の役割を担う事になりました。

先頃、京都大学の山中伸弥教授が再生医療の実現につながるiPS細胞を初めて作成したとしてノーベル生理学医学賞を受賞しました。この発表は、日本中を駆け巡り、久しぶりの明るいニュースに湧きました。さらに、テレビや新聞は

そんななか、丹羽先生は、この発表の前に早くもiPS細胞について、近著「国際がん学会が認めた、延命効果世界一の『丹羽がん療法』」(徳間書店発行)で詳しく触れています。今回はそのようなこともあり、iPS細胞を始めとする最先

国際がん学会が認めた、
**延命効果世界一の
『丹羽がん療法』**

【土佐清水病院院長】
丹羽 靱負
Yukie Niwa

**「がんなら、抗がん剤」
は命を縮める。**

独自の天然の生薬を用いる丹羽療法なら、

**世界平均延命1年以内の
肝臓がんで6年以上も延命!**

しかも、副作用で苦しまず、人間らしい生活をまっとうできる。

徳間書店

国際がん学会が認めた、
延命効果世界一の『丹羽がん療法』
丹羽靱負 著(土佐清水病院院長)
徳間書店刊

す。さらに移植に適した内臓の数も少なく、厳しい状況でした。でも、iPS細胞ならば、もともと自分の細胞だから合わないことはないし、いつでも欲しい体の部分の細胞を作り出すことができるそうです。

IPS細胞を増やすには
がんを抑える酵素を

なくさなければならぬ

——先生の母校、京都大学の山中教授がノーベル賞を取られました。

丹羽
iPS細胞の研究がとうと

うやりましたね。再生医療の分野

は京都大学が世界でいちばん進ん

でいるんです。この再生医療とは、

iPS細胞で正常な細胞を増殖さ

せて、死んでしまった体の組織、

失われた細胞組織の修復を図ろう

という医療なんです。現在、全世

界から注目されている人類の希望とも言える治療法ですね。

やはり、この医療も慎重に取り組んでいかないと、大きな落とし穴

——まだ実際の治療には使われていないようですが。

が待ち構えています。

——落とし穴というところ？

丹羽 先日、やはり京都大学の研
究チームが心臓を動かす心筋細胞

丹羽 私が抗がん剤の副作用で
言ってきた自然の系の問題になる



を効率的に変える小分子化合物を

発見したと発表したように、ほと

んど実験段階が確立して、人の病

気にも応用されようとしています。

そのことは非常に結構な事です、

細胞も同時に増殖させるという事になるのです。ここが i P S 細胞の一番危険な問題点なんです。私

は、再生医療に関して、またその

研究に日夜努力をされている優れ

た研究者の方々には敬意を表して

います。また、その成果も素晴ら

しいと思います。ただ、iPS細胞

胞には発がんの危険性があること

をメディアはもう少し伝えるべき

ではないかと。

——それは伏せられている事なん

でしょうか。知らない事なんですよ。
うか。

丹羽 研究者の方で、この道のプロの方々ならみなさん知ってます。なぜかという、数年前にiPS細胞の成果が得られるようになったから、メディアで次々報告される内容に「今度できたiPS細胞は発がんの危険性がない」ということが時々ちらっと付帯報告されているんです。つい最近も同様の報告がNHKの番組で紹介されていました。iPS細胞は確かに失った組織を再生できてありがたいことには間違いない。けれど、どうして「常に発がんの危険性を伴いますよ」と初めにはっきりと言わないのか。言わないものだから普通の人は危険のない夢の医療だと思っている。

——発がんの危険があることのメ

カニズムを私達にも分かるように教えて頂けませんか。

丹羽 本に詳しく書いたけれど、細胞周期というのが問題なんです。人間の細胞はそれぞれ新陳代謝を



して生きています。増殖して止まり、減少していく。これが次々繰り返されているわけです。そのなかで、今まで増えていた細胞が終止期に入るために、Rbタンパク質、

P53タンパクというタンパク酵素が出て来て、火事を消す消火器のよ

うな役割をして増殖を抑えるんです。この事が発見されたときは、

これらの酵素ががんの増殖もいっしょに抑えることができるということで、副作用のない抗がん剤として使う動きもあつたくらい、世界が注目する研究のひとつでした。

——いろんな先生が、体内には健康な人でもがん細胞は存在するといえますよね。ただそれがストレスや食生活、睡眠不足などが原因で増殖したり、また、遺伝子異常で増殖したりしない限り、普段はこれらの酵素が活躍して抑えているわけですか？

丹羽 そういうこと。ところが、iPS細胞である部位の細胞を増殖させるということは、終止期に入らずずっと増殖させる事なんで

す。つまり、Rbタンパク、P53タンパクの働きを抑えないといけない。iPS細胞を作るときはこれらの酵素の働きを叩いて、完全にストップさせているんです。

——ということは、がんも増殖するかもしれないわけですね。

丹羽 そうです。非常にがん化する危険性を伴うんです。私はこのことで山中教授に今年の始めに質問状を出したんです。

——さすが丹羽先生ですね。お返事は？

丹羽 いただきましたよ。非常にいいねいなお返事を。ただ、やは

◆丹羽先生診察ご希望の方は御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

丹羽メディカル研究所

☎0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会

☎03(5787)3498

まで お電話ください。



り一般論にのみ止まり、私が知っていた事には触れられていませんでした。ひとつはまだ研究段階で、公にはできない事も多いから仕方ないでしょう。

——山中教授の会見などを拝見していても、まだ実際に使用するには研究を重ねないといけないというような、非常に慎重な発言をされていますよね。

丹羽 現場の方々は良くお分かりだと思います。再生医療はスタートラインに立ったばかりで、これから長いスパンでの臨床データな

どが必要になってくると。しかし私は、功を急ぐ勇み足の医学者が臨床に起用した末に、がん患者が多発する、という将来になるんじゃないかと心配しているんです。

——最先端医療には必ずリスクもついてくるということですね。丹羽先生の療法とは対極ですね。

丹羽 私の基本は、やはり、正常な細胞を叩く抗がん剤に反対。それとは逆に、がん細胞を増やしてしまう再生医療にも危惧を抱いています。

——しかし、再生医療の研究がどのようにクローズアップされるといふ事は、もう抗がん剤などでは、がんを始めとする難病は治らないということを経験者や医者が知っているということではないのでしょうか。

丹羽 裏を返せばそういうことです。

SOD愛飲者 インタビュー

リウマチ、便秘、脂肪肝

SODですべてが改善

長野県 山川千賀子さん(50歳)

整体師として日々忙しく過ごしていた千賀子さんが異変を感じたのは今年(平成24年)に入ってからで、その事でした。

手や足の指の関節が腫れ、曲げ伸ばしするたびになんとなく痛みを感じる事が多くなったのです。

また、朝晩に手足がこわばるような感覚もありました。最初のうちは、寒いし、このところ仕事が忙しく疲れているからかもしれないと思っていました。

「職業柄、手を使う事が多かったんで、疲れているんだなと。ところが痛みがどんどん増してくるんです。これはおかしいなと。仕事柄、



リウマチのお客さんもたくさん接していましたが、知識もあつたんですが、まさか自分は平気と思っていたんですね。それに、健康維持のために数年前からSODを飲んでいたので、自分は絶対大丈夫と思っていたんです」

千賀子さんがSODを飲むようになったのは、働いている整体院に毎月送られてくる会報や資料が

キツカケでした。当時、まだ40代で元気だった千賀子さん。健康にはさほど気を使っていなかったといえます。それでもSODを飲む

うと思ったのは、医者が開発したもので、他の健康食品よりも効果の根拠がしっかりしていたことでした。活性酸素を除去することや、体内にきちんと届くメカニズムなど、

「これなら飲んでみようと思ったんです。健康に関してあまり気を使っていなかったから、そろそろ予防しておかないと更年期障害も乗り越えられないかもしれないと思い、SODを飲み始めたんです。一日に2包でしたから、気休め程度ですよね。でも、飲み始めてから体が疲れにくくなっていました」

そんな中で、起こった手足の痛みでした。

「これはおかしい、ただ事ではないかもしれないと思い、病院に行って検査してもらいました。そうしたら、リウマチという診断」

このとき処方された薬が、痛み止めとサラゾスルファピリジン（アザルフィジンEN錠）でした。アザルフィジンは潰瘍性大腸炎やクローン病などに炎症を抑える薬としても使用されますが、抗リウマチ薬としても用いられ、体の異常な免疫機能を正常化する作用があります。そして関節の痛みや腫れ



を抑え、病気の進行を遅らせます。

（おくすり110番より）

「薬はやっぱり抵抗ありますよね。それでも痛みを抑えてくれるので飲まざるを得ない。だましました。なんとか仕事を続けていました。でも、できれば薬は減らしたかったので、SODを思い切って一日に8包飲み始めたんです。それと並行して丹羽先生の著書を何冊も読みあさり、生活改善に取り組み始めたんです。肉乳製品は控え、油はオリーブオイル、添加物を避け、水をたくさん飲むようにしたんです」

人は災いが自分の身に降り掛からないとなかなか生活改善などではないもの。千賀子さんは、初期のリウマチのおかげで、リウマチを始め、様々な病気の事、薬の副作用のことを調べ、勉強したの

です。

毎日SOD8包

2ヶ月でリウマチの炎症反応が平常値に

「そうしたら5月に50ミリもあったリウマチの炎症反応が、7月に検査したら18ミリにまで下がっていったんです」

リウマチのレベルを示す炎症反応。男性で15ミリ、女性で20ミリ以下であれば正常値だとか。薬が必要とされる数値は、30ミリから40ミリがひとつの目安になっているそうです。重度になると80ミリ以上になると言いますから、千賀子さんの5月時点の状態は、かなり進んでいたと言えます。

「18ミリに下がっていたことを、なによりも先生がびっくりされていました。こんなに短期で改善出来



るはずがないと首をかしげていました。そこでSODのおかげですと話しても、西洋医療の先生には理解してもらえないだろうと思って、SODを飲んでいることは黙っていたんです。むしろやめなさいと言われそうで怖かったから」

丹羽先生も良くおっしゃいます。SODを飲んで数値が改善された人はたくさんいるけど、ほとんど医者にはそのことを告げないから、SODを認識していない医者が多い。嬉しいけど困ったものだ、と

笑っていました。

しかし、千賀子さんは、同じ病院の東洋医療の先生にはSODを飲んだことを打ち明けました。そうしたら、

「その先生は、SOD酵素は活性酸素を除去するのに大切だから、飲み続けたのがよかったのでしょうと言ってくれました。おかげで手足のつらい痛みはすっかり消え、痛み止めの薬はやめました」

そうして今、千賀子さんにはリウマチ以外にもうひとつ嬉しいSOD効果がありました。それは、

「肌です。もともと乾燥肌のうえに、年齢のせいでハリつやもなくなり、がっかりしていたんです。おまけにひどい便秘でもう20年くらい週一回は下剤を飲まないといられなかったんです。それがSODを8包飲むようになって、驚くくらい

改善されたんです。肌はしっとりしてくるし、くすみが取れてつやがでてきたんです。みんなから若くなったとか、肌がきれいになったって言われるんです。そしてなにより、便秘がなくなったこと。薬もいらなくなって、毎日快適」

リウマチの症状が出なくなった今も、SODだけは毎日6〜8包欠かさず飲んでいるという千賀子さん。なんと、脂肪肝まで改善されていたと打ち明けてくれました。

「何から何までリセットされたよ

う。SODのおかげで生まれ変わったようです。SODに出会えなかったら、私の人生、どうなっていたんでしょう。考えるだけでも恐ろしいです。ほんとうに出会えて良かったと感謝しています。いつか丹羽先生にお会いしてお礼を言いたいです」

とおっしゃる声が、生き生きとはずんでいて、こちらまで嬉しくなりました。



SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都 世田谷区
玉川1-15-2 B棟2802
日本SOD研究会 宮城宛
Tel 03-5787-3498

までご一報下さい。

黒ゴマの驚くべき!

第6回

健康効果



ゴマの優れた栄養成分の
体内での働きについて

黒ゴマキャラクターのゴマっちです。
今月から黒ゴマの健康効果についてお伝えします!

古くから、ゴマを食べると若々しく健康に過ごせるといわれてきました。このゴマの健康パワーの源といえるのが、ゴマに含まれる希少成分のゴマリグナン類、その主成分であるセサミンです。

今月からは、黒ゴマキャラクターのゴマっちと一緒に、ゴマに含まれるバランスの良い栄養成分について、詳しくレポートをお届け致します。

ゴマの栄養成分 その魅力

これまでもお伝えしているように、古くから油や調味料、そして薬としていろいろな場面で使われてきたゴマ。日本に伝わってきたのは縄文時代の後期といわれるほど、私たちとは付き合いの長い食品です。

小さな種子のゴマですが、脂質、たんばく質、炭水化物、ビタミン、ミネラル、食物繊維と、私たちの体に必要な栄養がバランスよくぎゅっしりと詰まった食品です。

割合でみると、一番多いのは脂質で、全体のおよそ半分を占めています。脂質をさらに詳しく見て

みると、体内で合成することができない必須脂肪酸であるリノール酸と、酸化しにくく、コレステロールをコントロールするといわれるオレイン酸がほぼ1対1で含まれ、他の植物油と比べてもとてもバランスがよいのです。

次に多いのがたんばく質で、全体の20%ほどです。植物性たんばく質という大豆が有名ですが、含まれるアミノ酸の種類から見ても、ゴマも非常に優秀です。しかも、メチオンやシステインという硫

黄を含んだアミノ酸を、大豆たんばくよりも多く含んでいます。

逆に、大豆はゴマには少ないリジンを多く含んでいるため、ゴマとの相性は抜群で、一緒に摂ることにより、動物性たんばく質にひけをとらないアミノ酸を摂取することが出来ます。

普段の食生活で不足しがちなビタミンとミネラルも豊富に含まれています。ビタミンの代表格としてはB、E、ナイアシンで、体のエネルギー代謝や抗酸化作用に必要なものです。

そして、含まれるミネラルの中でも、特に注目すべき存在は※セ

レンです。微量ながら、体内にあるグルタチオンペルオキシダーゼという抗酸化酵素が働くときに欠かせない大切なミネラルなのです。

他にもカルシウム、マグネシウム、鉄、亜鉛、銅、フィチン酸なども含まれており、非常に栄養バランスの優れた食品といえます。

料理の脇役と思われがちのゴマですが、実はとても優秀な食品なのです。普段の食事から、他の食品と合わせて積極的にゴマを摂って、ゴマの健康効果を利用していききたいですね。

つづく



ゴマに含まれる主な成分

ミネラル

鉄、銅、リン、マグネシウム、カリウム、亜鉛、セレンなど、ゴマはこれらミネラルの宝庫です。鉄はひじきや鶏のレバーに匹敵するほど含まれており、マグネシウムや銅は大豆を大幅にしのぐ含有量で、なかでもセレンの含有量が多く、ゴマの大きな特徴のひとつです。

脂質

全体のおよそ50~55%を占める脂質。不飽和脂肪酸のリノール酸とオレイン酸がほぼ1対1の割合で含まれています。

たんばく質

全体のおよそ20%で、アミノ酸がバランスよく含まれ、特に大豆たんばくに足りない硫黄を含むアミノ酸を多く含まれているのが特徴です。

ビタミン類

ビタミンB1、B2、B6、ナイアシン、ビタミンE、フィチン酸などが含まれ、ゴマには代謝や抗酸化作用に関わるビタミンが含まれています。ビタミンEには4つのトコフェロールと4つのトコトリエノールという、8つの物質があるが、そのうちゴマにはγ-トコフェロールという抗酸化性に優れたものが多く含まれています。

カルシウム

ひじきに負けないくらいの量がゴマには含まれています。しかし、ゴマに含まれるカルシウムはシュウ酸と結合して不溶性のため、体内での吸収率については、まだはっきりと解明されていません。

その他

食物繊維など。

※セレンは過剰に摂取し過ぎると、かえって体に悪影響を及ぼします。摂り過ぎには注意しましょう。